平成26年3月期 第2四半期決算短信（日本基準）（連結）

平成25年11月14日

上場会社名　シライ電子工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6658　　URL　http://www.shiraidenshi.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）小島　甚昭
問合せ先責任者　（役職名）取締役　経理･財務担当　（氏名）小谷　峰藏　TEL 075-861-8100
四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,998	4.2	305	―	879	―	633	―
25年3月期第2四半期	11,518	1.0	△82	―	△137	―	△208	―

（注）包括利益　26年3月期第2四半期　556百万円　（―%）　25年3月期第2四半期　△261百万円　（―%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	45.33	―
25年3月期第2四半期	△14.94	―

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、25年3月期第2四半期は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、26年3月期第2四半期は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	19,160	2,616	12.7	173.95
25年3月期	17,752	2,060	10.6	134.93

（参考）自己資本　26年3月期第2四半期　2,430百万円　25年3月期　1,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期（予想）			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想（平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	3.0	500	220.5	500	49.3	303	50.7	21.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	13,976,000 株	25年3月期	13,976,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,382 株	25年3月期	1,382 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	13,974,618 株	25年3月期2Q	13,974,618 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ（3）「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、平成25年11月25日に機関投資家・証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……11
(継続企業の前提に関する注記) ……11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……11
(セグメント情報等) ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、米国におきましては財政面に不安を残しつつも景気は底堅さを示し、債務危機問題からマイナス成長が続いていた欧州は主要国を中心に景気が緩やかな回復に向かいました。一方、中国景気は引き続き軟調に推移し、その他新興諸国も経済成長の鈍化が続きました。

わが国経済におきましては、政府や日銀の経済・金融政策の効果が現れ始めたことや、為替水準の是正を反映して企業の景況感が改善するなど、全体的には緩やかな回復傾向を示しております。

プリント配線板業界におきましては、近隣国との関係悪化の影響により非常に厳しい状況が続いておりましたが、一時の低迷は脱し、少し明るさが見え始めてまいりました。

このような状況のなか当社グループは、プリント配線板事業におきましては、国内営業ではカーエレクトロニクス関連やホームアプライアンス関連を中心に受注の確保に努め、電子応用関連やアミューズメント関連での受注強化を推進いたしました。海外営業では北米市場向けに需要が好調なカーエレクトロニクス関連や、取引先の海外移管が進み需要が好調な電子応用関連を中心に受注活動に取り組みました。生産活動におきましては、国内外において製造力強化活動を継続推進し、労働生産性向上を中心とした生産体制の一層の強化を図りました。また、品質向上及び各種固定費削減活動にも継続して取り組みました。

プリント配線板外観検査機事業におきましては、プリント配線板外観検査機VISPERシリーズをフルモデルチェンジし、更なる市場の開拓やブランド力の向上に取り組むとともに、プリント配線板用ホールチェッカーの発売を開始するなど、プリント配線板メーカーの生産性向上につながるソリューション提案の拡大に注力いたしました。

また、透明フレキシブル基板（SPET）や銅ピン挿入基板（S-MIT）等の新商品は継続して販売を強化するとともに、当社では新たな取り扱いとなるアルミベース基板の販売にも本格的に取り組みました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は11,998百万円となり、前年同期比では480百万円（4.2%）の増収となりました。

営業損益につきましては、製造力強化活動の展開により、主に海外での収益が改善したことや、グループを挙げて販売費及び一般管理費の圧縮に懸命に取り組んだことにより、前年同期比では387百万円改善となる305百万円の営業利益となりました。

経常損益につきましては、営業利益が改善となったことや、円安の進展により為替差益が増加したこと及び借入金の返済により支払利息が減少したことなどにより、前年同期比では1,016百万円改善となる879百万円の経常利益となりました。

四半期純損益につきましては、経営体質強化を目的とした事業構造改革の一環として希望退職者の募集を行ったことから、これに伴い発生する特別加算金、再就職支援費用等122百万円を希望退職関連費用として特別損失に計上いたしましたが、前年同期比では842百万円改善となる633百万円の四半期純利益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

（プリント配線板事業）

プリント配線板事業につきましては、国内外においてカーエレクトロニクス関連を中心に営業活動を行い、その他の分野からの受注確保にも懸命に取り組んだ結果、売上高は11,497百万円となり前年同期比では435百万円（3.9％）の増収となりました。損益面につきましては、売上高の増収及び製造力強化活動の展開により主に海外での収益が改善した結果、前年同期比では376百万円改善の203百万円の営業利益となりました。

（プリント配線板外観検査機事業）

プリント配線板外観検査機事業につきましては、フルモデルチェンジしたプリント配線板外観検査機VISPERシリーズが順調に販売できたことから、売上高は465百万円となりました。前年同期比では４百万円（0.9％）の減収ではありますが、概ね前年同様の売上高を確保いたしました。損益面につきましては、第１四半期がフルモデルチェンジへの移行期間中であったことにより利益確保ができなかった影響で、前年同期比では14百万円（20.1％）減益の59百万円の営業利益となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、19,160百万円（前連結会計年度末比1,407百万円増）となりました。その内訳は、流動資産が8,887百万円（前連結会計年度末比639百万円増）、固定資産が10,272百万円（前連結会計年度末比768百万円増）であり、主な増減要因は次のとおりであります。流動資産につきましては、現金及び預金は278百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が481百万円、製品が125百万円、仕掛品が89百万円、その他が142百万円増加したことによるものであります。固定資産につきましては、有形固定資産が円安による換算差等により443百万円増加し、投資その他の資産が303百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、16,544百万円（前連結会計年度末比851百万円増）となりました。その内訳は、流動負債が11,608百万円（前連結会計年度末比1,636百万円増）、固定負債が4,935百万円（前連結会計年度末比784百万円減）であり、主な増減要因は次のとおりであります。流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が1,416百万円、短期借入金が180百万円増加したことによるものであります。固定負債につきましては、返済の実施により長期借入金が731百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,616百万円（前連結会計年度末比556百万円増）となりました。主な増減要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が633百万円改善いたしましたが、為替換算調整勘定が99百万円減少したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は1,528百万円となり、前年同期比では22百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,169百万円の獲得となり、前年同期比では358百万円の獲得増加となりました。その主な増減要因は、当第２四半期連結累計期間は、売上債権の増減額が767百万円増加、非資金項目である為替差益が652百万円増加となりましたが、税金等調整前四半期純利益が877百万円増益となったことや、仕入債務の増減額が924百万円増加したことにより資金流出が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、346百万円の流出となり、前年同期比では286百万円の流出増加となりました。その主な増減要因は、当第２四半期連結累計期間では前年同期は定期預金の払戻により100百万円の収入がありましたが、当期は払戻が発生しなかったことや、その他が183百万円減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,258百万円の支出となり、前年同期比では712百万円の流出増加となりました。その主な増減要因は、当第２四半期連結累計期間には、長期借入金の返済による支出が32百万円減少となりましたが、短期借入金の純増減額が738百万円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期通期の連結及び個別業績予想につきましては、第２四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成25年５月14日に公表いたしました連結及び個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「平成26年３月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,206	1,928
受取手形及び売掛金	3,897	4,378
製品	1,133	1,258
仕掛品	345	435
原材料及び貯蔵品	349	393
繰延税金資産	86	121
その他	229	371
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,248	8,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,484	3,721
機械装置及び運搬具（純額）	1,991	2,136
その他（純額）	2,048	2,110
有形固定資産合計	7,524	7,968
無形固定資産	206	228
投資その他の資産	1,772	2,076
固定資産合計	9,504	10,272
資産合計	17,752	19,160

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,234	4,650
短期借入金	4,107	4,288
1年内返済予定の長期借入金	1,779	1,637
未払法人税等	77	109
賞与引当金	46	28
その他	727	894
流動負債合計	9,972	11,608
固定負債		
長期借入金	4,744	4,013
退職給付引当金	656	645
資産除去債務	134	135
その他	184	141
固定負債合計	5,720	4,935
負債合計	15,692	16,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	1,476	1,476
利益剰余金	△745	△112
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,092	2,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	9
為替換算調整勘定	△205	△304
その他の包括利益累計額合計	△206	△294
少数株主持分	174	185
純資産合計	2,060	2,616
負債純資産合計	17,752	19,160

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	11,518	11,998
売上原価	9,915	10,102
売上総利益	1,602	1,896
販売費及び一般管理費	1,685	1,591
営業利益又は営業損失（△）	△82	305
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	2	0
仕入割引	9	1
為替差益	94	705
その他	22	62
営業外収益合計	131	770
営業外費用		
支払利息	152	144
持分法による投資損失	24	46
その他	8	5
営業外費用合計	185	195
経常利益又は経常損失（△）	△137	879
特別利益		
固定資産売却益	0	－
特別利益合計	0	－
特別損失		
固定資産廃棄損	1	5
設備移設費用	－	6
製品不良関連損失	－	9
希望退職関連費用	－	122
会員権評価損	3	－
特別損失合計	4	142
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△140	736
法人税、住民税及び事業税	106	100
法人税等調整額	△44	△8
法人税等合計	61	92
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△202	644
少数株主利益	6	10
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△208	633

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主利益	6	10
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△202	644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	11
為替換算調整勘定	△28	△99
持分法適用会社に対する持分相当額	2	0
その他の包括利益合計	△58	△88
四半期包括利益	△261	556
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△267	545
少数株主に係る四半期包括利益	6	10

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△140	736
減価償却費	385	423
リース資産減損勘定の取崩額	△3	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	164	△25
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△4	△10
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△0
受取利息及び受取配当金	△3	△0
支払利息	152	144
為替差損益（△は益）	△81	△733
固定資産売却損益（△は益）	△0	－
固定資産廃棄損	1	5
会員権評価損	3	－
持分法による投資損益（△は益）	24	46
売上債権の増減額（△は増加）	633	△134
たな卸資産の増減額（△は増加）	△276	△116
仕入債務の増減額（△は減少）	160	1,084
未払消費税等の増減額（△は減少）	63	△75
希望退職関連費用に係る未払金の増減額(△は減少)	－	122
その他	△21	△78
小計	1,056	1,387
利息及び配当金の受取額	3	0
利息の支払額	△153	△148
法人税等の支払額	△99	△69
法人税等の還付額	4	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	810	1,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100	－
有形固定資産の取得による支出	△143	△138
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△2	△7
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
保険積立金の解約による収入	3	－
その他	△13	△197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59	△346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	465	△273
長期借入金の返済による支出	△979	△946
リース債務の返済による支出	△32	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△545	△1,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	157
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	220	△278
現金及び現金同等物の期首残高	1,331	1,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,551	1,528

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）3
	プリント配線板事業	プリント配線板外観検査機事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,062	422	11,485	32	11,518	—	11,518
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	47	47	240	287	△287	—
計	11,062	469	11,532	273	11,806	△287	11,518
セグメント利益又は損失（△）	△172	73	△98	5	△92	10	△82

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業及び人材派遣・業務請負を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額10百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）3
	プリント配線板事業	プリント配線板外観検査機事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,497	463	11,961	37	11,998	—	11,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	2	242	245	△245	—
計	11,497	465	11,963	279	12,243	△245	11,998
セグメント利益	203	59	262	9	272	33	305

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業及び人材派遣・業務請負を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額33百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

３　セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。